



代表取締役常務 小林 克秀 氏

- 所 在 等 天童市石鳥居2-2-64
従業員数 51名
代 表 代表取締役社長 阿部 光成
事 業
- 1 工作機械・印刷機械・自動車などの部品の製造販売
 - 2 食料品加工用機械の部品の製造販売
 - 3 半導体製造装置の部品の製造販売
 - 4 電子顕微鏡など電子機器用部品の製造販売
 - 5 前各号に付帯する一切の業務

【斎藤マシン工業株式会社】

1 組合を取り巻く現状と課題

当社は、多品種少量生産を主軸とした、ステンレス製の真空に関する装置部品の製作を得意としている。

現在お取引させていただいているメーカー様より、スマートフォンの製造に係る真空装置部品が大型化していく相談や、半導体製造ウエハが直径300mmから450mmと大きくなる(2020年代)といった動きがある等、製造部品が大きくなっていく事から、今後も受注の出来る体制づくりを行う為に大型の設備増強を計画的に行う必要がある。

また、納期についても短納期の仕事量が増えてきている為、対応するための体制づくりも進めなければならない。

2 企業としての取組と実施事業

当社は、真空関連の各種装置向けに、材料投入から加工・出荷まで各工程に携わる一人一人が真空に対する高度な知識レベルを持ち、機械加工では対応が出来ない真空中で最も重要なパッキンの仕上げなどについての手仕上げ技術に関するノウハウ等も蓄積しており、精密加工技術と共に高い競争力を持っている。大型設備を増強していく事により、前述した当社の強みを生かした営業展開を進める事で、現在お付き合いしているメーカー様からの更なる受注はもちろんの事、ステンレス加工・真空・防塵、といったキーワードをアピールし医療機器関係の受注も増加出来る見込みである。

3 山形県中小企業トータルサポート補助金事業の内容

他社と差別化する意味でも装置部品の大型化に対応する為の設備投資を計画的に行っていかなければならない。補助金がある事で投資の判断基準となり、設備投資について前向きに検討する事ができる。また、それだけではなく営業戦略の今後の方針を再検討するきっかけとしても役立っており、金銭面以外の部分でも大いに良い影響があると思っている。

【山形県中小企業トータルサポート補助金事業とは】

本県製造業者の競争力強化を推進し、付加価値額の増加を図るため、県内中小企業者が自社製品等について、コンサルティング会社等を活用し、県内外で販路開拓等を行う事業として山形県知事が認定したものについて補助金を交付。

4 今後の課題

当社に求められる製品は、真空機械部品が多い。製品の大きさ、フランジの数、溶接の強度、フランジ取り付け角度の精度等難易度は高く工程が長い。大型の物では完成まで最大1.5か月ほどかかる製品もある。

※受注拡大を目指す為には工程の効率化が重要⇒5軸加工機の負荷を分散する取り組みが必要。

5 将来に向けた今後の対応

事業拡大を行うにあたり中山町の空き工場を購入した。そこでは、大型加工設備の導入及び、組立部門を立ち上げる計画となっている。また、三次元測定機の導入などの、品質管理体制の強化も行っていく予定。

●会員の集い懇親会

意見交換会に引き続き、吉村美栄子知事にご臨席いただき懇親会を開催し、乾杯のご発声を山本益己商工中金山形支店長からいただいた。幅広い業種の参加者同士による情報交換が行われた。



山本益己商工中金山形支店長

